



AI・IoT Promotions Association

関東経済産業局DX推進セミナー AI・IoT・ロボティクスで経営者へ伴走支援



一般社団法人 **AI・IoT普及推進協会**

1. 自己紹介



当協会の組織名、英語表記、略称、会長、代表理事、理事、連携組織、創業、住所、事業内容となります。

組織名 : 一般社団法人AI・IoT普及推進協会

英語表記 : AI・IoT Promotions Association

略称 : AIPA（呼称 アイパ）

会長 : 播磨 崇

代表理事 : 阿部 満（事務局長）

理事 : 山川 元博（事業部長）

グループ組織 : 一般社団法人ロボティクス・オートメーション普及推進協会

連携組織 : 一般社団法人ファクトリーサイエンティスト協会

: 一般社団法人情報処理学会

創業 : 2019年2月

住所 : 東京都千代田区二番町9-3 THEBASE麹町

事業内容 : AI・IoTに関する普及推進事業全般

認定機関 : 経済産業省情報処理認定機関 第15号-21080126



当協会の組織名、英語表記、略称、会長、代表理事、理事、連携組織、創業、住所、事業内容となります。

組織名 : 一般社団法人ロボティクス・オートメーション普及推進協会

略称 :  (ラパ)
Robotex Automation Promotions Association

代表理事 : 阿部 満

事業部長 : 吉村 好広



グループ組織 : 一般社団法人 AI・IoT 普及推進協会

フェロー : 川下 敬之

創業 : 2023年5月

住所 : 東京都千代田二番9-3 THE BASE 麴町

事業内容 : ロボティクス・オートメーションに関する普及推進事業全般

一般社団法人 **AI・IoT普及推進協会**

一般社団法人 **ロボティクス・オートメーション普及推進協会**

代表理事 **阿部 満 (あべ みつる)**

■保有資格

- ・認定AI・IoTマスターコンサルタント (AIMC)
- ・認定ロボティクス・オートメーションプロデューサー (RAP)
- ・認定デジタル経営士 (DMP) ※2026年7月予定



■主な経歴

- ・富士ゼロックスIT関連企業にてマーケティング関連に従事
- ・京セラ関連IT企業にて事業開発部長、経営企画部長、コンサルティング部長に従事。
- ・ITコーディネータ協会を経て独立。
中小企業向けコンサルティング活動を行うほか、研修講師としても高い評価を得ている。
経済産業省IT経営力大賞認定及び優秀賞企業など多数支援。

■主な公職及び活動団体関連

- ・中小企業大学校講師
- ・東京都／埼玉県中小企業振興公社専門家
- ・全国商工会議所／商工会／中央会講師
.....など連携組織多数



中小企業 I T 経営力大賞 2009年、2010年、2011年、2013年、2014年認定企業支援
2010・2011年連続優秀賞 (I T コーディネータ協会会長賞) 受賞企業支援

■著書

- ・「IT経営可視化戦略」(産業能率大学出版部) : 2007年11月
- ・「IT経営実践の知識」(同友館) : 2008年12月
- ・「AI×IoTで会社を強くする方法」(Amazon) : 2020年5月
- ・「ITで経営課題を解決する方法」(Amazon) : 2020年5月
- ・「DXプロセスガイドライン」(同友館) : 2022年10月



我が国のSOCIETY5.0の取り組みとAIPA・RAPAの関係性

我が国の少子高齢化対策の一つとして内閣府はSociety5.0を提唱しており、日本政府が提唱する未来社会のコンセプトとなっております。サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、新たな未来社会(Society)を“Society 5.0(ソサイエティ5.0)”として提唱しています。

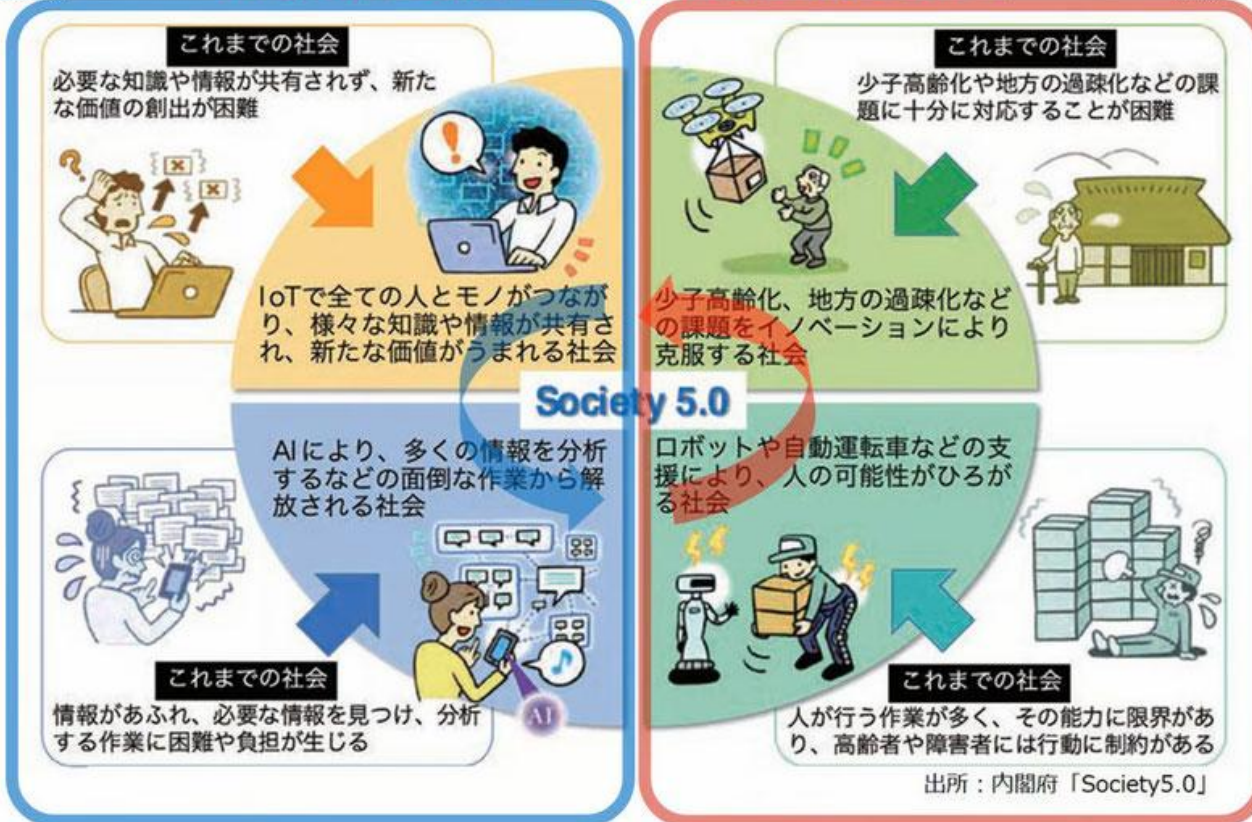
一般社団法人AI・IoT普及推進協会として対応するIoT(モノのインターネット)とAI(人工知能)の領域での対応と一般社団法人ロボティクス・オートメーション普及推進協会としてロボティクス・オートメーションまた領域で対応により双方を連携するためにDX応援隊事業を全国で展開しています。



IT化ではなくAI・IoTでのDXが一般化しておりますが、弊協会はロボティクスや自動化分野でも資格と研修、支援事業をAIPA&RAPAの両面に対応して参ります。



一般社団法人AI・IoT普及推進協会



一般社団法人ロボティクス・オートメーション普及推進協会

■新パーパス(存在意義・価値)

当協会は我が国の緊急の課題である少子高齢化、労働人口減少、生産性低下による国力低下を防止するためにAIPA及びRAPAの資格者を認定し、認定者が活躍することで我が国の発展に寄与する。

■新ビジョン(組織上の最上位の目的)

当協会は我が国及び我が国友好国に対して、AI・IoT、ロボティクス・オートメーション等の最新テクノロジーを駆使し、企業の持続可能性と発展に寄与する専門家を育成し、その協力により企業と組織発展に寄与すること目的とする。

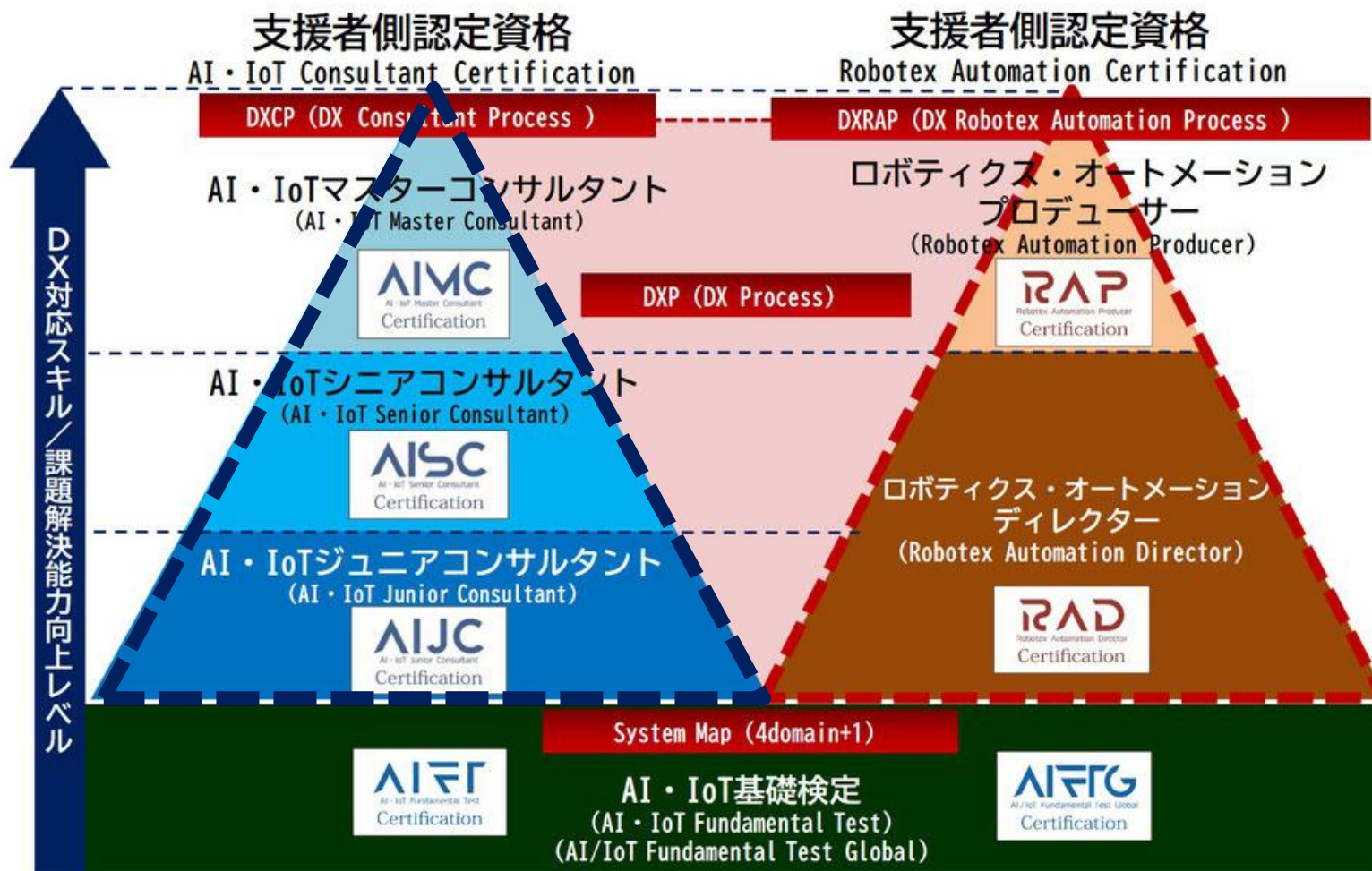
※最上位の象徴的に「AIPA/RAPA認定デジタル経営士」を新設

当協会の国内およびグローバル組織展開

当協会は日本国内の全国支部、地区での展開はもとより、ベトナムではAI・IoTマスターコンサルタント(AIMC)の資格展開を行い国際的な展開を図っております。その結果、ベトナム、インド等との連携でAI・IoTの開発などもご紹介できるグローバル展開を行っております。



認定AI・IoT基礎検定(AIFT)はAI・IoTの基礎知識を学んだことを証明する当協会の認定検定資格となります。また、AIFTの上位の資格の認定AI・IoTコンサルタント(AIC)とは長時間の研修と試験に合格したAI×IoTに特化した日本初のDX資格となります。認定ロボティクス・オートメーションディレクター(RAD)とプロデューサー(RAP)はロボット×オートメーションに特化した日本初の資格となります。その相互を取得することにより、AI×IoTの導入から運用、そしてマネジメント志向まですべてカバーすることができます。



資格取得企業例

資格取得者企業は大企業から小規模個人まで多数の資格認定者が我が国のDXを支援するためにAI・IoTのテクノロジーを活用して活動しております。

主に大手～中小Sier(メーカー含む)、IT商社、ベンダー、大手米国コンサルファームから小規模コンサル会社、金融機関、大学、社団法人、診断士、ITCなど士業。

※特に事業者側(企業)の資格者も増加中です。(例:トヨタ、川崎重工、カナデビアなど)

TOYOTA

Panasonic

 **Kawasaki**
Powering your potential

Kanadevia

TOSHIBA

FUJITSU

NEC

CTC
Challenging Tomorrow's Changes

TANITA
Healthy Habits for Happiness

LINEヤフー

 **大塚商会**

JBS

pwc

大和総研
Daiwa Institute of Research

JMA
一般社団法人日本能率協会

NEPON

 **第四北越銀行**

 **紀陽銀行**

 公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学

 **FACTORY
SCIENTIST**

成長するAIPA（及びRAPA）認定資格者数

日本のAI・IoT市場は急成長を続け、企業のDX推進を支えるAIPA資格者の需要が拡大しています。人手不足や生産性向上の課題解決に直結し、専門性が社会で強く求められる時代です。

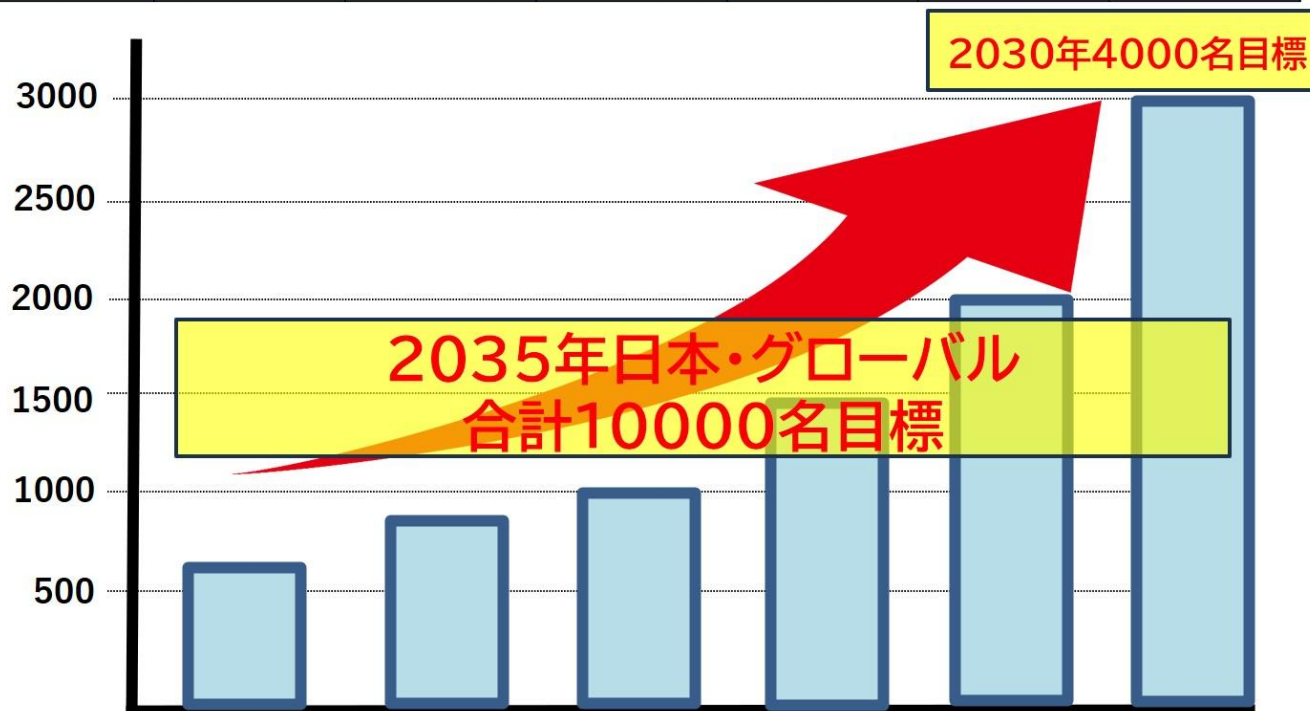
資格者数も2024年650名から**2030年には予定4,000名目標(2035年には日本と世界累計**

10,000名を目指します。)へと着実に増加し、AIPAの資格者の活躍の舞台は今後ますます広がります。

※尚、RAPAの認定資格者も向上することで我が国の少子高齢化、労働生産性低下、競争力激化に対応します。

当協会資格認定者累積推移（AIPA認定資格者総合計）

年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年	2028年度	2029年度
当協会認定資格合格者	実績650名	予定800名	予定1000名	予定1500名	予定2000名	予定3000名



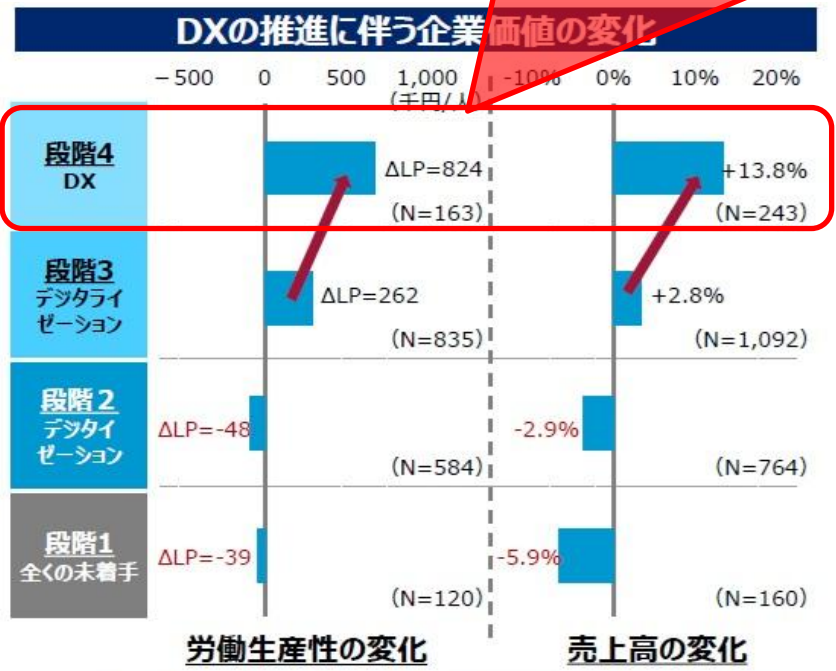
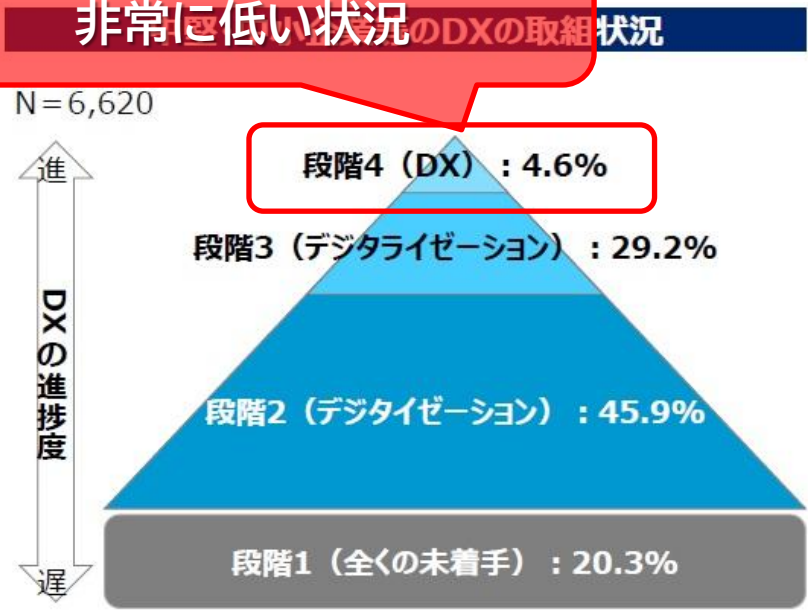
2. 支援の特徴（アプローチ）



重要

段階4の段階は労働生産性を向上し、売上高を上げるには事務効率向上だけでは難しい。外部支援者のレベルも高いレベルが求められる。

段階4(DX)は僅か4.6%
非常に低い状況



➤ 段階1、2の企業が全体の66%程度を占め、中堅・中小企業等のデジタル化は道半ば

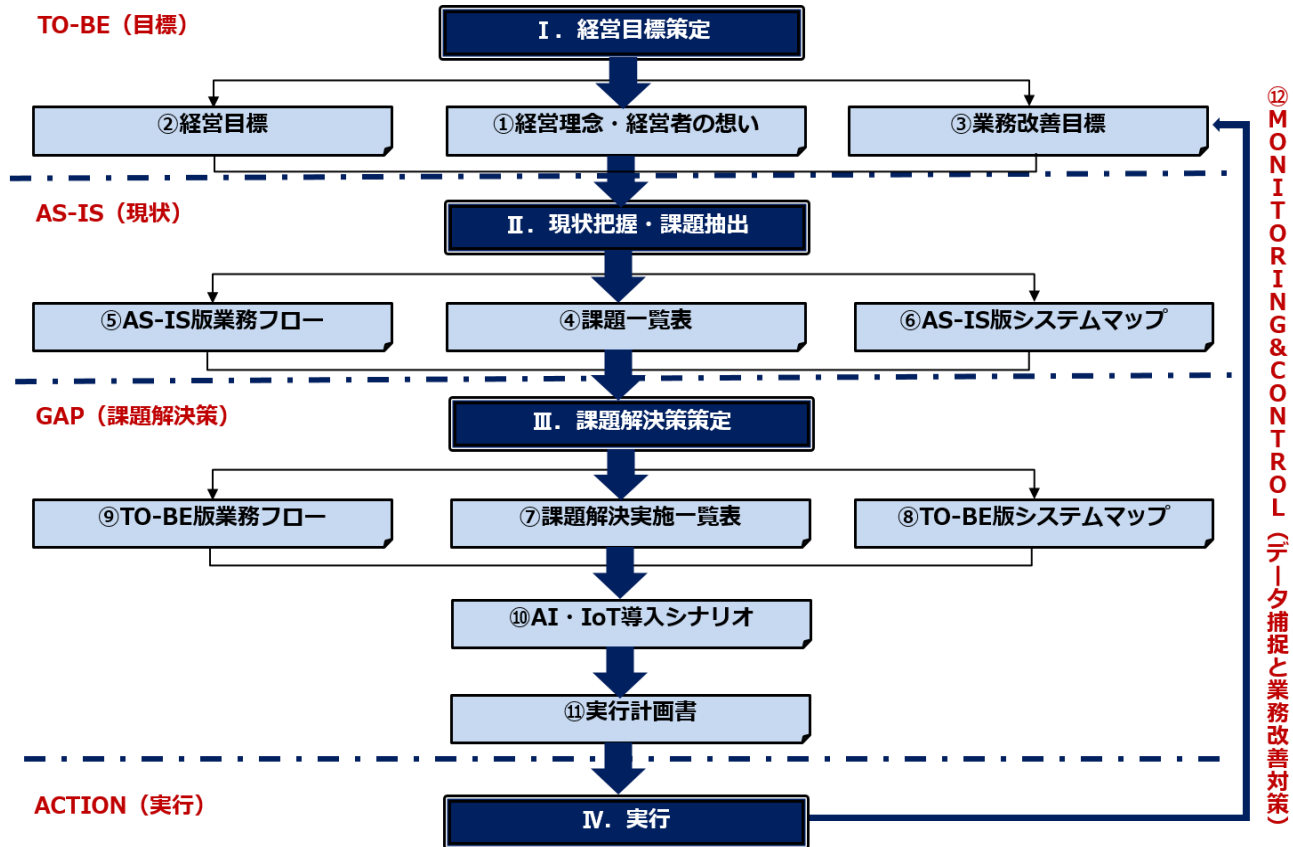
➤ 一方、段階3、4の中堅・中小企業等は生産性・売上が向上しており、DX推進は企業価値向上に繋がる

(注) DXの取組状況として「分からない」と回答した企業は除いている。
(出所) 中小企業庁「中小企業白書2023年版」、野村総合研究所「地域における中小企業のデジタル化及び社会課題解決に向けた取組等に関する調査」基に作成。

(注) ΔLP=労働生産性の変化を表す。
労働生産性=(営業利益+人件費+減価償却費+賃借料+租税公課)/従業員数
労働生産性の変化及び売上高の変化率はそれぞれ中央値を集計。
(出所) 東京商工リサーチ「令和3年度中小企業の経営戦略及びデジタル化の動向に関する調査に係る委託事業 報告書」(2022年3月)を基に作成。



AIPAとRAPAの認定資格者は全員、DXプロセスガイドラインのDX実行計画書(DXロードマップ)作成とPoC(概念実証)など通して経営理念と経営者の想い、経営目標、業務改善目標を達成するために一緒に現場で汗をかいてデータ分析と改善、改革を行う専門家です。
DXプロセスガイドラインに沿って支援し、具体的なツールを導入しデータ駆動型経営になるように伴走支援を行う = AI・IoT・ロボティクス・オートメーション化によるDXの伴奏支援者です。



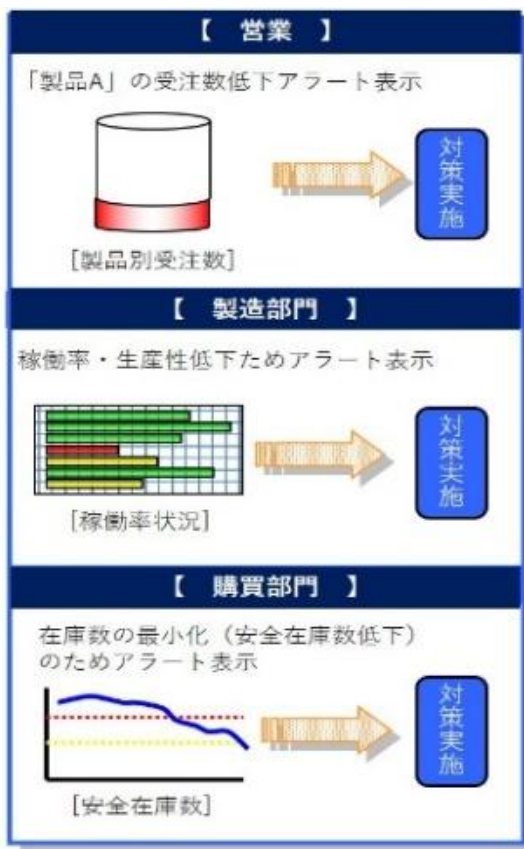
認定AI・IoTコンサルタント(AIC)、認定ロボティクス・オートメーションディレクター(RAD)やプロデューサー(RAP)資格取得後は日本最大級のAI・IoT、ロボティクス・オートメーションツール検索データベース(約600件のツール検索可能)を利用できます。※資格取得前はパスワード保護により利用できません。(企業の求めるツールを多くのデータからチョイスできます。)



<https://aipa-rapa-portal.com/for-support/>



伴走支援には確実に経営、管理、現場など様々なデータを可視化して、そのデータを如何に有効なデータにしていけるかが重要です。バリューアップDXは単にデータ分析でできるだけでなく、企業価値、顧客価値、市場価値を向上し、既存事業ドメインの成功から新規事業ドメインまで展開する力を向上することが重要です。(持続的成長)



企業価値、顧客価値、市場価値を向上

3. 支援実績



想定するバリューアップの成果

業務効率化やコスト削減にとどまらず、既存事業の高度化や新規事業の創出を通じて高付加価値化を図り、企業全体の収益力を高め、雇用拡大や賃上げ・設備投資等につなげる取組み

想定するバリューアップDXの成果(攻めのDX)

- ① 顧客ニーズに合った製品・サービスの提供
- ② 製品・サービスの高品質化
- ③ 供給体制の強化(安定供給・納期短縮・歩留まり向上等)
- ④ DXによる余力(人・資金等)の事業拡大への活用
- ⑤ 新製品・サービスの開発
- ⑥ 異分野への進出(DXコンサル等)
- ⑦ ビジネスモデルの転換(定額制サービス等)

現在までのDXの成果(守りのDX)

- ① 業務プロセスの効率化(電子化・RPA導入等)
- ② データの一元管理・活用
- ③ 各種コストの削減
- ④ オンライン環境の整備(リモートワーク等)
- ⑤ データに基づく意思決定の推進
- ⑥ 社員の改善提案力・自律性の向上
- ⑦ 技術・技能の伝承(デジタルアーカイブ化等)

※収益力を高め、雇用拡大や賃上げ・設備投資等につなげる取組み

中堅・中小企業等支援の過去の実績（一例）

- 経済産業省デジタル化応援隊事業: **累計50社以上支援**
- 地方自治体DX支援事業: **累計100社以上支援**
- DX支援コンサルティング: **累計50社以上支援**
- 国内DX関係研修: **累計100回以上**
- 海外DX関係研修: インド、ベトナム、インドネシア、ジャカルタ、ナイジェリア、モロッコ、ベネズエラ、パキスタン等**20回以上**
- DX応援隊事業展開: **関東、関西、九州など日本全国展開**
- 全国各地各種補助金・助成金**申請採択多数**



中国精油株式会社

COMPASS

出典:IT経営マガジン「COMPASS」掲載記事
<https://www.compass-it.jp/pickup/5313>



ボトムアップから進める製造業のDX 職人技を「チームの知」に変えるAI・IoT活用

中国精油の支援においては、リーダーの考えを理解し、IT導入前の課題整理や言語化から支援を行い、DXの推進に寄与した。同社の濱本氏は「我々だけの知識では限られるなか、知識や意見を参考にいろいろなことに気づくことができ、大きなステップを踏めました」と話している。

<サポータ紹介>

オフィスイーグレイション 代表
吉村 好広氏
AIPA認定AI・IoTマスターコンサルタント



システム開発会社にて、ソリューション営業、経営管理などを担当し、2018年に独立開業。中小・小規模事業者の経営者の想いを「構想」から「実行」へとカタチにするため、AI・IoT・ロボットの導入、IT活用、情報セキュリティ対策など幅広い分野で支援している。

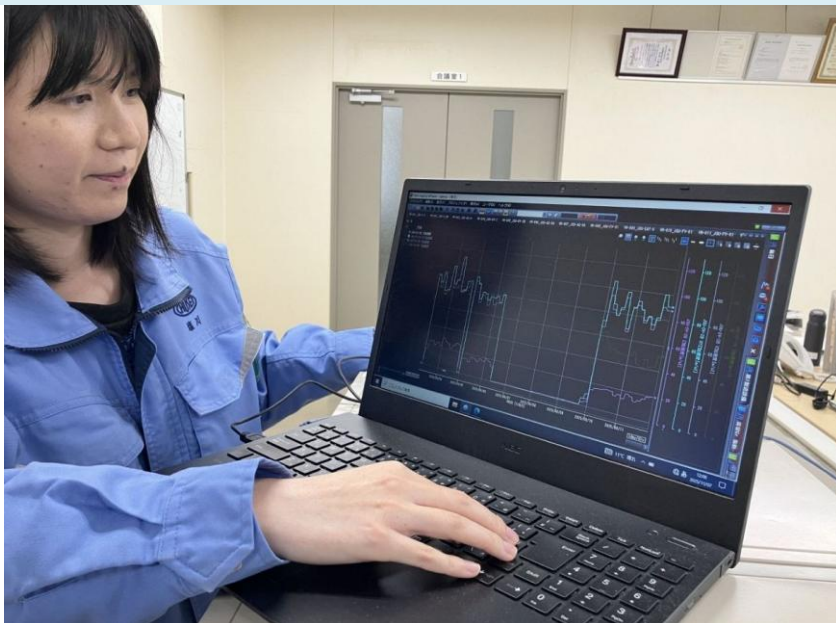
中国精油は、令和7年度「おかやまDX経営力大賞」にて大賞を受賞しました。

中国精油株式会社 ※山陰新聞掲載記事

バリューアップDX成果

- ① 顧客ニーズに合った製品・サービスの提供
- ② 製品・サービスの高品質化
- ③ 供給体制の強化(安定供給・納期短縮・歩留まり向上等)
- ④ DXによる余力(人・資金等)の事業拡大への活用

振動センサーで計測した波形を確認する中国精油の社員



2025年(令和7年)10月28日 火曜

採用担当者

(株) 中国精油
岡山市北区

http://

行政・医療・製造・流通分野などを中心に、独自ブランドのクラウドサービスを全国展開しています。

変更。14件の応募があり、岡山市の阿部匡伸理事・上席副社長らが審査した。表彰式は11月20日に山陽新聞社さん太ホール(岡山市北区柳町)で開く「岡山情報化セミナー」に合わせて行う。(小野寺万由子)

中国精油が受賞

技術データ化、活用評価

デジタルトランスフォーメーション(DX)の活用で優れた企業を表彰する2025年度「おかやまDX経営力大賞」(岡山県経済団体連絡協議会などで行う実行委主催)の受賞企業が27日、発表され、大賞には中国精油(岡山市北区中山下)が選ばれた。同社は、水島工場(倉敷市玉島乙島)で手がける化学品の蒸留精製の技術をデータ化し、社内でも共有できる仕組みを構築。データから最適な精製方法を導き出すなど、08年度から実施してきた「おかやまDX経営力大賞」を今回から名称

つばめガスが三原支店開設

コインランドリー併設

プロパンガス販売などのつばめガス(岡山市南区福田)は、三原市皆美に三原支店を開設した。コインランドリーを併設し、新規事業として自社運営する。民有地1295平方メートル購入し、鉄骨2階建て250



6平方メートルを建設。外観は流線形の木目調パネルで、同

コインランドリーを併設したつばめガスの三原支店

ムカイ鐵工株式会社

COMPASS

出典:IT経営マガジン「COMPASS」掲載記事

<https://www.compass-it.jp/pickup/5340>



<IoTセンサーを活用した機械の稼働率測定>

稼働状況を把握したい機械



稼働状況を分析して
改善や対策に役立てる



IoTセンサーから取得した稼働
データを蓄積

人口減時代を見据えた改革に着手 機械の稼働率把握ではIoTセンサーの自社設置も

いきなり高額なシステムを使わずとも、身近なツールで実感を得ながら成長させていくことを大切にしている。

向井専務は、「ツール利用が目的にならず、何を解決したいのか常に立ち返りながら冷静に進めていくことを学びました。これからもいろいろ教えていただきたい」と感想を話している。

<サポータ紹介>

小林 真也氏

AIPA 認定 AI・IoT マスターコンサルタント



IT インフラ構築・提案に携わり、岡山県内の公的支援機関にて企業のデジタル化支援担当を経て、独立。やさしい語り口で、企業の実際をよく理解して等身大の IT 導入を支援している。

バリューアップDX成果

- ① 製品・サービスの高品質化
- ② 供給体制の強化(安定供給・納期短縮・歩留まり向上等)
- ③ DXによる余力(人・資金等)の事業拡大への活用

株式会社前嶋

COMPASS

出典:IT経営マガジン「COMPASS」掲載記事
<https://www.compass-it.jp/pickup/5338>



AIチャットボットでの顧客分析、攻めの営業活動



時代に合った人材育成を進めるには？ 情報のギャップを埋め、的確なサポートを

前嶋社長は「商社という事業の特性をよく理解し、私ども立場になって考えてくださった。定量的に測れないため、どこを変え、どこを残すかの判断が難しいなか、プロセスを分解し、理解しやすい環境を作っていただきました。とにかく、来ていただいてよかった、に尽きます」と話している。

<サポータ紹介>

OFFICE TAMAKI
 玉置 順一氏
 AIPA認定AI・IoTマスターコンサルタント



産業・電力系統制御システムのソフトウェア開発などに携わった後、情報系の専門学校にて教務運営を推進。独立後は「ビジネス課題をチャンスに変えるITパートナー」としてセミナー講師やコンサルティングを行っている。

バリューアップDX成果

- ① 顧客ニーズに合った製品・サービスの提供
- ② 製品・サービスの高品質化
- ③ 供給体制の強化(安定供給・納期短縮・歩留まり向上等)
- ④ DXによる余力(人・資金等)の事業拡大への活用ビジネスモデルの転換(定額制サービス等)

比企光学株式会社

(比企オプティクスグループ)

超大型レンズ製造の
パイオニア企業を目指す



AI画像検査、協働ロボットによる重労働作業 IoT稼働監視活用

柳瀬社長は「2010年リーマンショック時に工場の稼働率が低下すると、NC機械加工への新事業への多角化を展開。同時に既存事業でのDXに関して身近で対応できるIoT、協働ロボット、AI画像検査などに積極的に取り組むことで企業価値を向上できている」と話している。

<サポータ紹介>

ブリッジソリューションズ株式会社
阿部 満氏
AIPA認定AI・IoTマスターコンサルタント



経済産業省IT経営力大賞受賞支援8社、優秀賞(ITコーディネータ協会会長賞)支援2社、中小企業基盤整備機構中小企業大学校講師15年、1000社以上のIT経営アドバイス、100社以上の大企業から中小企業までの支援実績
バリューアップDX成果

- ① 顧客ニーズに合った製品・サービスの提供
- ② 製品・サービスの高品質化
- ③ 供給体制の強化(安定供給・納期短縮・歩留まり向上等)
- ④ DXによる余力(人・資金等)の事業拡大への活用
- ⑤ 新製品・サービスの開発

業務効率化やコスト削減にとどまらず、既存事業の高度化や新規事業の創出を通じて高付加価値化を図り、企業全体の収益力を高め、雇用拡大や賃上げ・設備投資等につなげる取組み

想定するバリューアップDXの成果(攻めのDX)



- ① 顧客ニーズに合った製品・サービスの提供
- ② 製品・サービスの高品質化
- ③ 供給体制の強化(安定供給・納期短縮・歩留まり向上等)
- ④ DXによる余力(人・資金等)の事業拡大への活用
- ⑤ 新製品・サービスの開発
- ⑥ 異分野への進出(DXコンサル等)
- ⑦ ビジネスモデルの転換(定額制サービス等)

- ⑧ 業務プロセスの効率化(電子化・RPA導入等)
- ⑨ データの一元管理・活用
- ⑩ 各種コストの削減
- ⑪ オンライン環境の整備(リモートワーク等)
- ⑫ データに基づく意思決定の推進
- ⑬ 社員の改善提案力・自律性の向上
- ⑭ 技術・技能の伝承(デジタルアーカイブ化等)

現在までのDXの成果(守りのDX)

バリューアップDXを支援する支援者はITSSのレベル5以上のキャリアと実践力が必要です。=認定AI・IoTマスターコンサルタント(AIMC)、認定ロボティクス・オートメーションディレクター・プロデューサー(RAD/RAP)等は研修試験に実際の経営者へのヒアリング、提案する研修が含まれておりその後のフォローアップも含め実践的な資格体系です。

キャリア	レベル	特徴	評価方法	試験
高度IT人材	レベル7	国内のハイエンドプレイヤーかつ世界で通用するプレイヤー	成果(実績)ベース	情報処理技術者試験での対応はレベル4まで
	レベル6	国内のハイエンドプレイヤー	業務経験や面談等	
	レベル5	企業内のハイエンドプレイヤー		
ミドル	レベル4	高度な知識・技能	試験+業務経験により判断	高度試験
	レベル3	応用的知識・技能	スキル(能力)ベース	ミドル試験
	レベル2	基本的知識・技能		基礎試験
	レベル1	最低限求められる基礎知識	試験の可否	エントリ試験

(注) 〇 は試験制度改定の対象範囲を示す。

図1-2 共通キャリア・スキルフレームワークに基づくレベル判定 (出典：人材育成WG報告書)





IT化を支援する支援者はITSSのレベル4以下のキャリアと実践力でも可能。
 ※歴史のあるIPA資格、ITC資格など優秀で大変実績の多い資格が基盤として存在しております。

4. ご参加者の皆様へのメッセージ



IT(総市場) = 約27.9兆円(6.4%成長率)に対し、**AI・IoT、ロボティクス・オートメーション(総市場) = 14兆円(10%~20%成長)**と急速な成長を果たしております。

凡例 10%以下の成長率:  10%以上の成長率: 

分類	直近の市場規模	年度	成長率・期間	成長度	出典情報
IT(総市場)	約¥27.9兆	2025	CAGR 6.4%(2024-2029)		IDC見積。2025年は前年比+9.7%。(IT Leaders)
AI(総市場)	約¥1.02兆	2024	CAGR 20.4%(2025-2033)		ソフト/サービス/ハード合算ベース。(IMARC Group)
IoT(総市場)	約¥9.37兆	2024	CAGR 13.3%(2025-2033)		デバイス~プラットフォームまで含む広義IoT。(IMARC Group)
ロボティクス (参考1:総市場)	約¥0.43兆	2024	CAGR 1.8%(2025-2033)		市場定義が狭めの集計。(IMARC Group)
ロボティクス (参考2:産業用)	約¥0.47兆	2023	CAGR 8%(2024-2030)		産業用ロボットにフォーカス。(グランドビューリサーチ)
ロボティクス (参考3:サービスロボ)	約¥0.4兆	見通し	年率12-20%相当で拡大		富士経済推計(2024比で約3倍)。(TechCrunch, Tech in Asia, Bloomberg.com)
オートメーション (FA & 産業制御)	約¥2.34兆	2024	CAGR 9.8%(2025-2033)		工場自動化+制御の合算。(IMARC Group)

Understand the Digital Transformation with Just This 1 Diagram

Integrating IT, AI, IoT, and Robotics

Digital Transformation

Business Innovation
New Services

AI & Automation

AI, Analytics, Optimization
Autonomous Control

IoT & Robotics

Sensors, Equipment,
Robots, Smart Automation

Data & Software

Enterprise Systems, Apps, Data Utilization

IT Infrastructure

Cloud, Network, Hardware

The 5 Key Pillars of the Digital Society

A concise illustration summarizing the evolution of digital technology

認定デジタル経営士(AIPA・RAPA認定)

└ 経営判断・投資判断・撤退判断

あらゆるデジタル技術(ITのみならず、AI・IoT、ロボティクス・オートメーション等)を駆使して、企業のバリューアップDXを実現する資格をして認定を開始します。
(2026年7月以降)

経営判断層
デジタル経営士
デジタル経営士(補)

※実務経験資格

価値創出層
(AIPA・RAPA系資格)
※AI・IoT、ロボティクス・
オートメーション化資格

基盤層(IT系資格)
(IPA・ITC系資格)
※重要資格(活躍者多数)



IPA/IT/ITC資格など多数の歴史と実績のある資格が日本にはあります。多くの支援者の外部の力を借りることも重要。

これからもAIPAとRAPAは中堅・中小企業のDXをバリューアップDXとして伴奏支援して参ります。多くの実績のある資格の皆様やITベンダーの皆様とわが国を成長できるように頑張りましょう。29

